

レモンのグリーンな省力栽培体系マニュアル（施設）

月	旬	生育	定 期 防 除				施 肥 基 準 (10a当り施用量)		耕種的対応・注意点など
			病 害 虫	薬 剤 名	使用基準※	倍数	有機JAS	耕種	
3	上 中 下	開 花 前	(ミカンハダニ)	(サフオイル乳剤)	(前日／ー)	500	有機N10号 80kg	粒状発酵 鶏糞 270kg	(機械油乳剤を原則散布しないハウスの場合) ●サフオイル乳剤はアブラムシ類にも効果が認められる。 ●収穫完了後は、樹幹全体の剪定により、通風・受光環境の改善を図る。 ●開花期～落弁期には、水洗いにより花びらをおとし、灰色かび病を抑える。 ●ハウス周辺の除草を行う。 ●夏枝処理の際にカイガラムシ類の被害部位を剪除するとともに、樹幹内部に光を入れるよう受光環境を改善する。 ●スパイカルプラスのバックは、直射日光を避け、葉の影に吊り下げる。 ●イオウフロアブルは葉害を生じる恐れがあるので、高温時の使用を避ける。 ●ハウス周辺の除草を行う（種子が入るまで）。 ●夏秋梢処理の際にハマキムシ、カイガラムシ類の被害部位を剪除する。 ●徒長した秋枝は随時剪除し、良好な通風・受光環境の維持に努める。
4	上 中 下	開 花 期	(アザミウマ類)	(スピノエースフロアブル)	(7日／2回)	4000			
5	上 中 下	落 弁 期	灰色かび病						
6	上 中 下	秋 冬 花 果 実 (夏 季 レ モ ン) の 収 穫	カイガラムシ類 ミカンハダニ ミカンサビダニ チャノホコリダニ	スパイカルプラス イオウフロアブル	4パック／樹 ー／ー	ー 400	有機N10号 80kg	粒状発酵 鶏糞 270kg	
7	上 中 下		(ミカンハダニ)	(サフオイル乳剤)	(前日／ー)	500			
8	上 中 下		カイガラムシ類 チャノコカクモンハマキ (ミカンサビダニ) カイガラムシ類	(イオウフロアブル)	(ー／ー)	400	有機N10号 80kg	粒状発酵 鶏糞 270kg	
9	上 中 下		(ミカンハダニ) ミカンサビダニ	(サフオイル乳剤) イオウフロアブル	(前日／ー) ー／ー	500 400			
10	上 中 下	青 い レ モ ン 収 穫	(ミカンハダニ)	(サフオイル乳剤)	(前日／ー)	500			
11	上 中 下		(ミカンハダニ)	(サフオイル乳剤)	(前日／ー)	500	有機N10号 80kg	粒状発酵 鶏糞 270kg	
12	上 中 下		(ミカンハダニ)	(サフオイル乳剤)	(前日／ー)	500			
1	上 中 下	黄 色 い レ モ ン 収 穫	※11月～1月（要防除密度(3頭/葉)を超える場合)				堆肥の施用（目安） 牛糞堆肥 3t 豚糞堆肥 1t 鶏糞堆肥 1t		注) 安定生産には地力増進が重要である。 指導機関に土壌pHや土壌ECの測定を依頼し、土壌改良剤の要否や塩類集積状態の判定を行うとよい。 ●収穫予定の果実が樹上にない場合に限り使用。
2	上 中 下		(収穫終了後) ミカンハダニ カイガラムシ類	アタックオイル	ー／ー	60	苦土石灰 又は サンライム	100kg	

使用基準：収穫前日数／使用回数制限を示す。

◎青は有機JAS、赤は耕種取組を示す。

◎（ ）は定期防除以外の応急的な防除を指す。

◎農薬の使用基準を順守し、病害虫の発生、収穫計画に応じて薬剤選択及び適期に防除を行う。

◎安定生産のため、冬季の堆肥施用による土づくりを行い地力増進に努める（注：豚糞堆肥、鶏糞堆肥の過度の施用は控える）。

★農薬の保管管理、生産工程管理のための記帳は必ず行いましょう（栽培日誌、防除日誌）★